

■岩橋教章 幕末の海軍測量士官，明治前期の印刷・製図家で，維新前後の大きな役割を果たした地図作成の先駆者。

いわはしきょうしょう

滑稽+人情本 1835＝ 伊勢国松坂で，鳥羽藩土岩橋庄助の長男に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 2歳：

天保改革終・1844＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝10歳：

父が死去したため，祖父に伴われて江戸に出，志摩国鳥羽藩土岩橋庄助の養嗣子となり，

狩野洞庭について絵を学び，

ペリー来航・1853＝18歳：

藩主稲垣侯侍医安藤文沢に蘭学を習い，

安政の大獄・1859＝24歳：\_オランダ人の指導を受け長崎港測量をした一員であったといわれ，海軍伝習所の聴講生であったらしく，養父病臥に伴い，家督を継ぐ。\_幕府海軍が品川と神奈川港の実測図を調製するに際し，絵図方助手として参加。欧式港湾縮図の日本人による最初である。

桜田門外変・1860＝25歳：

遣欧使節・1861＝26歳：

\*幕命によって荒井郁之助らが江戸湾測量した際にも手伝い，その画技を買われてか，幕府御用鑑操練所絵図方出役となり，3人扶持を給せられる。

生麦事件・1862＝27歳：

8月18日政変 1863＝28歳：

薩摩藩士密航1865＝30歳：

明治維新・1868＝33歳：

\_幕府による尾張・伊勢・志摩沖から沿岸測量に参加，その成果「伊勢志摩尾張付紀伊三河」にも関わり，幕府の遣欧使節団をオランダ船にひきつぐ咸臨丸が志摩で入港すべき場所を間違えた際にも，急遽測量，その功により，褒美として金20両を受けた。  
\*榎本武揚らに従って蝦夷地へ逃れ五稜郭に拠ったが，敗れて官軍に降る。  
\_一時謹慎の後，

初の日刊新聞1870＝35歳：

廃藩置県・1871＝36歳：

学問のすすめ1872＝37歳：

明治6年政変 1873＝38歳：

佐賀の乱・1874＝39歳：

初の民間工場1875＝40歳：

三つの内乱・1876＝41歳：

西南戦争・1877＝42歳：

大久保暗殺・1878＝43歳：

静岡学問所の図画担当教師を経て，\_徴せられて兵部省へ出仕，海軍兵学権大属拜命。

名を改めた海軍兵学校に日本画の大家橋本雅邦らとともに勤務している。

\*ウィーン万国博覧会へ派遣され，ウィーン地図学校へ入学，測図・製図諸法を修めて，

帰国。大蔵省紙幣寮，内務省地理寮などに勤め，多くの銅版や石版技術者を育成，

唯一現存する美術作品の水彩画「鴨の静物」。

「地理製図式」(近藤真琴校閲)，

福田栄造編「銅板絵入・懐中東京案内」には，“有名銅版所”や銅版を成すものとして岩橋教章の名がある。

「測繪図譜」を刊行。銅版技術を生かして内務省地理局編輯五千分の一の「兵庫神戸」「横浜」を作成，

..... 1880＝45歳：

明治14年政変1881＝46歳：

\*「地理製図式」「測繪図譜」が内務省地理局発行となる。内国勲業博覧会審査官となったが，

岩倉具視没・1883＝48歳：\_病没した。